

町内の空き家、空き地の現状と対策について問う

空き家問題は、都市、地方を問わず社会的な課題と位置付けられている。特に適切な管理が行われていない空き家は、防災、衛生、景観などの面で地域住民の生活環境に深刻な影響を与えている。今後、団塊の世代が相続期を迎えるとさらなる空き家の急増が予測される。本町においても年々増加傾向であり、空き家対策、利活用は大変重要な課題であり、空き家を増やさないことはまちづくり全体にとっても大切である。また、雑草繁茂が酷い空き地等が町内に点在する。近隣住民からは、夏場では交通の妨げや衛生面、冬場の乾燥時期では火災の危険性などを指摘され町も対応しているようだが、改善はあまりみられない。令和3年12月定例会議の私の一般質問で、「空き地の雑草などの除草に関する条例などを制定し規制をかけたらどうか」と質問したところ、町からは、「先進事例も含めて検討しながら出来ることはやっていきたい」との答弁であったが、1年以上経過しどのようなになっているのか。以上のことから次のことを問う。

- 1 町内の空き家の現状と対策は。
- 2 空き家の利活用についての考えは。
- 3 雑草が繁茂する空き地等の現状と対策、規制をかける条例を制定する考えはあるか。